

# 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/09/10～2018/10/31)

## 1. 勉学の状況

### I 法律科目

履修科目：民法・商法

中国法は日本法と同じくドイツ法を基にしており、日本法にもかなり影響を受けている。中国の法律用語の40%は日本から輸入されたものである。授業で紹介される民法の教科書には日本の教科書の中国語訳もあった。

こうした背景もあって講義は難しくはない。しかし専門性の高い講義を理解するのは難しい。法律専門用語は聞き慣れない為、ときどき何を説明しているのか分からなくなる。後で発音から漢字を調べれば日本にもある法律用語だった、ということも度々ある。

日本との法律の違いを知ることにより日本法の理解も深まる。

### II 専門外科目

履修科目：日本経済、政治と経済

中国国内の日本政治研究の第一人者が開く授業。他国の日本政治の見方を知ることにより視野が広がる。面白い。教授や中国人学生の忌憚のない意見が聞けて面白い。

## 2. 生活の状況

多くの人が一番留学前に気にすることは友人ができるかどうかである。ヨーロッパから留学に来る学生が一番多いため、留学当初は英語しか喋っていないのではというほど欧米の留学生と交流があった。しかしやはり英語力が足りなく、思うようにコミュニケーションが取れないため、同じアジア人と深く付き合うようになる。中国では日本語を学んでいる学生が多いため、日本人と友達になりたがる人が多いので現地学生と仲良くなるのは難しくはない。

食事は来た当初は脂っこさに辟易したがすぐに慣れた。探せば油を使わないおかずもある。食堂のおかずのだいたい半分は日本人の口にあうおかずだ。

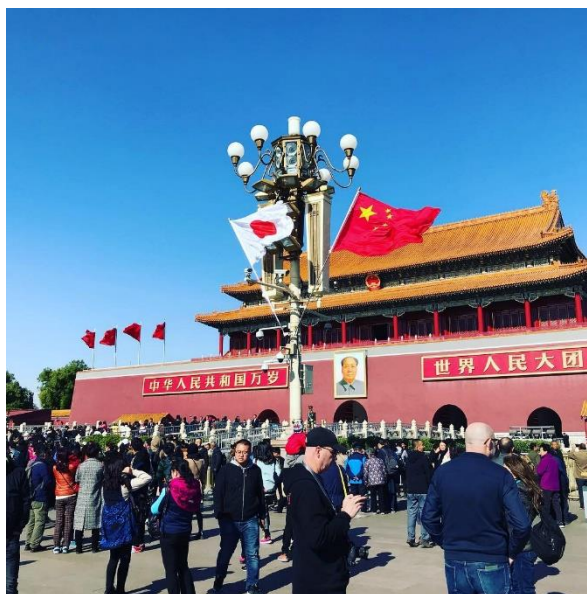
## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/11/1 ～ 2018/11/31)

### 1. 勉学の状況

#### I 中国語科目

リーディング、リスニング、スピーキングの授業が4レベルずつあり、私はスピーキングのレベル3のみ履修している。新出の単語、成語、語法が毎授業で沢山出るので授業は大変だが、その分成長を感じられる。中間テストの結果が返ってきたが、周りの点数の高さに驚いた。期末テストで取り返そうと思う。



#### II 専門科目

そろそろ期末試験の為に勉強を始めるころだが、日本政治の授業で4000字のレポートがでた。中国語で4000字は途方もない長さで絶望している。

↑ 安倍首相訪中時の天安門広場      ↓ 食堂の鶏肉椎茸麺 67円

### 2. 生活の状況

寒さが厳しくなっていき、早くも東京の真冬くらいの気温になった。ここから更に10度下がっていくと考えると気が滅入る。札幌くらいの防寒対策は必要になる。

11月11日は中国では独身の日、「双11」と呼ばれている。この日は一年で最も割引率の大きいネット通販のセール日である。中国はネット通販が浸透していて、猫も杓子も通販を使うのでこのセール期間の物流はパンク寸前までいく。



## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/12/01 ～ 2018/12/31)

### 1. 勉学の状況

1月にある期末テストが近くなり、慌ただしくなってきた。現地学生は日頃から長時間勉強しているが、一層寸暇を惜しんで勉強している。

#### ・語学科目（中国語スピーキング）

同級生は韓国人が最も多く、アジア人と白人の割合はほぼ同じくらいである。日本人以外のほとんどは中国語専攻である。そのためやる気に満ち溢れており授業で行うプレゼンもとても上手である。

授業は進度が早く、新出の単語やイディオムを沢山覚えなければならない。

#### ・専門科目（法律・政治）

期末のため、授業終了が早い授業では授業のまとめや学生の発表を行っている。院生向けの授業では学生の発表もとても高度である。

### 2. 生活の状況

寒さが厳しくなり、昼間でも零下7度まで下がるようになってきた。しかし室内は暖気という温水で部屋を暖める集中暖房が入っているため、東京よりも過ごしやすい。

上海とその周辺にある杭州と南京に旅行に行った。



上海の外灘 旧外国租界

上海は北京と比べて街の様子が東京に近く、住みやすいと感じた。友人は北京よりも上海に留学に来れば良かったと言っていた。外国租界時代の名残が強く残っていて、シャンゼリゼ通りかと思間違えてしまう道もあったりした。

# 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2019/1/1 ～ 2019/1/31)

## 1. 勉学の状況

日本の大学よりもひと足早く期末試験が行われた。一学期を終え、履修する授業を選ぶ点での注意点が分かった。以下はあくまでも個人の見解。

- 1、大人数が履修する授業は取ってはいけない。留学生にとっては生徒一人一人に対してのきめ細かいサポートが重要だからだ。やむを得ず履修する場合は先生と積極的に交流して存在を認知してもらう必要がある。
- 2、成績評価基準がなるべく期末テスト以外（レポートなど）である授業を選ぶ。テスト一発で評価が決まる形式のものは留学生にとっては酷すぎる。
- 3、学部生の場合は院生向けの授業を取らない。講義内容が高度であるか、求められる成果のレベルが高度である。実体験として、中国語で 4,000 字のレポートを課されたことがある。

## 2. 生活の状況

過去を悔やんでもしょうがないので勉強を一旦忘れて旅行に出かけた。

北京→深セン→広州→桂林→昆明→成都→重慶  
→西安→北京  
といった周遊旅行だ。

主に高速鉄道や寝台列車を使って移動した。高速鉄道は日本の新幹線と何も変わらないので新鮮味はなかったが、日本にはない移動目的としての寝台列車は乗っていて楽しかった。寝台列車は硬卧と軟卧の2種類があり、後者がより高級で値段が2倍ほどする。軟らかいとは名ばかりでそこまで軟らかくなく硬卧との大きな差はベッドが二段ベッドになり縦が広くなるのと各部屋にドアが付くという2点だ。



寝台列車の硬卧



深センは流石東洋のシリコンバレーと呼ばれるだけあってものすごい規模の電気街があり、何に使うのか見当もつかない部品が売られていた。数多くの IT ベンチャーが鎬を削っていて活気がある街だった。ドローン業界最大手の DJI もここにある。



深センの夜景

桂林では現地ツアーを利用して川下りをした。水墨画みたいな景色を見ることができる。現地ツアーは学生料金だと一人 260 元くらいで参加できる。

昆明は市街地には観光地は無く、全て郊外にあるので上手に日程を組む必要がある。

成都是パンダのふるさとであり、パンダ繁殖基地がある。飽きるほどパンダを見られる。

成都で感染性胃腸炎を発症してしまったので重慶ではずっと寝込んでいて観光ができなかった。50 時間の絶食ののち回復したので西安では観光できた。

来月号に続く



パンダ繁殖基地

## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2019/2/1 ～ 2019/2/28)

### 1. 勉学の状況

成績が出た。留学生に対しては成績のつけ方が甘く、授業にきちんと出てテストに参加さえすれば単位は貰えるようだ。従って先月の報告書では成績がテストだけで決まる授業はとらないこと勧めたが、撤回させていただく。好きな授業を自由に選んでいい。

### 2. 生活の状況

冬休み中に中国周遊旅行に出かけ、最終目的地、西安についたところまでは先月の報告書に書いた。西安は旧名長安で古くは中国の首都だった。唐の時代には長安を真似て平安京平城京が造られた。そのため町の様子は京都に似ていると感じた。大きく違うところは城壁があるところだ。町の中心部を守るようにぐるっと一周されている。

西安は西遊記の三蔵法師のモデルとなった玄奘三蔵がインドから経典を持ち帰った場所でもある。翻訳作



大唐芙蓉園

業を行った大慈恩寺には大雁塔があり今では町のシンボルとなっている。旧正月のときに行ったのだが大雁塔の周りは尋常じゃなく混んでいた。周辺には大型ショッピングモールや現代唐人街、大唐芙蓉園（唐の時代をイメージしたテーマパーク）など観光スポットが集まっている。

中国では旧正月を盛大に祝い、日本の正月とは盛り上がり方が桁違いだ。町に人と活気が溢れている。皆実家に帰るので、北京など大都市はゴーストタウンと化すそうだ。旧正月の前後は鉄道の切符は取りにくくなり、飛行機の値段は普段の何倍にも跳ね上がる。

冬休みが終わり新学期が始まった。友達が数人帰国し、新入生がやってきた。前学期は交友関係が狭すぎたので今学期は中国人や外国人留学生と数多く付き合っていきたい。

## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2019/3/1 ～ 2019/3/31)

### 1. 勉学の状況

今期は専門の授業以外では中国語の授業を2つ取った。どちらもリーディングの授業で同じ先生が担当している。この先生がなかなか適当で、授業のペースがとても遅くて宿題は出さない先生だったのである。履修登録期間が2週間ほどあるのでその間に良い先生かどうか見極めておかないと困ったことになる。

### 2. 生活の状況

日本人歓迎会が各大学で行われた。北京大学と清華大学の2つに参加した。

北京大学では日本人が200人ほどいて久々にこれほどの日本人を目にして圧巻だった。三次会ではクラブに行った。日本では珍しいのでその様子を記したいと思う。大学の最寄り駅には複数軒クラブがあるが、留学生は入場無料のクラブがあり、そこに行った。一階はバーのようになっており、地下はダンスフロアという構造だった。一杯飲んでから地下に行くととても混んでおりさながら満員電車のような感じだった。空いているところに入り込んで踊った。音楽の音量がとても大きいので会話するときは耳に口がつくくらい近づけてしゃべらないと聞こえない。お酒もだいたい入っているので気分が開放的になり楽しい。留学生なら入場無料でカクテルも300円前後なので安く楽しめる場所だ。

半年以上過ごしてきて最近すごく後悔していることが一つあるので紹介したいと思う。それは今まで学外の日中交流会に参加しなかったことだ。今までは学内のもののみ参加してきた。最近、知人の日本人留学生が学外の交流会で出会った他大の中国人と付き合っていることを耳にして、試しに他大や語学教室の日中交流会に参加してみた。これが物凄く良かった。

まず、今までは学内の大学生としか接しておらず、これは日本で例えてみれば東大生以外の学生と接したことがないようなものである。学外に出ることにより多様な人と出会える。日本語を学んで日本の大学に進学することを考えている高校生から極めて普通な大学生まで様々な出会いがある。また近郊にある他大の日本語学科はほぼ女子しかいないので、女子留学生で同性の友達を作りたい方や、男子留学生でお付き合いを考えている方は他大の交流会に積極的に参加することをお勧めする。



## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2019/4/1 ～ 2019/4/30)

### 1. 勉学の状況

中国語の授業で見たノンフィクション映画が強烈だった。男の子が人身売買業者の男に誘拐され、その男の妻が誘拐してきた子と知らずに孤児だと思って育てるが、実親が取り返しに来るストーリーだ。中国ではこのような人身売買目的での誘拐が少なくない。ターゲットとなるのは働き手となる男児だ。この映画の良いところは中立な立場で実親、誘拐犯の妻、子供の苦悩を描いているところだ。被害者側に偏ることなく、平等に扱っている。

### 2. 生活の状況

日中青少年交流推進年オープニングセレモニーに出席した。初めて河野外務大臣と王毅外交部長を生で見ることができた。このイベントは若者の交流をさらに推し進めていこうという目的で北京の国賓館で行われた。式の冒頭で流れたビデオに出演していた道着を着た日本人大学生に千葉大学学生と大きくテロップがついていた。唯一ビデオに出た日本の大学だった。



河野外相と王毅外相

トヨタの豊田章男社長が清華大学に来校された。幸運なことに、豊田社長の運転する車の助手席に座り、元レーサーである社長のドライビングテクニックを楽しむことができた。清華大学の法学院に留学していることを伝えると「ちょうど法務が足りないからうちに入ってくれよ」とおっしゃられるなどとても気さくな方であるとの印象を受けた。講演会ではトヨタの今後の展開や、新技術についてお話をされた。



トヨタ社長とツーショットを撮っている様子